

3人乗りハンドメイド自転車「ルネ・エルス」 (1948年)



第二次世界大戦後間もないパリ市内に3人乗り自転車はわずか8台しかありませんでした。その中の1台がこの「ルネ・エルス」です。大量生産の自転車とは異なり、車体をはじめ各種部品からネジの一本までこだわりながら理想の形を求めて手作りされたものです。その結果として、長い距離を走るツーリング用3人乗り（重量25キロ）としての美しい形が出来上がったのです。

この3人乗りを作ったのはフランスを代表するハンドメイド自転車製作者の一人、ルネ・エルス氏（1913～1976）です。乗り心地の快適さ、それがルネ・エルス氏の作る自転車の個性としてフランスのハンドメイド自転車文化の頂点となり、多くの人たちから今でも人気を博しているのです。

自転車文化センター 谷田貝一男